

いわた 福祉だより パートナー

2011

vol.562

毎月1日発行(休日の場合は翌日)

ホームページアドレス (アクセスしてください)
http://www.iwate-shakyo.or.jp/

特集 東日本大震災「その時、福祉現場は」

釜石市社会福祉協議会(釜石市)
特別養護老人ホームふたあヒルズ(大槌町)
特別養護老人ホーム富美岡荘(大船渡市)

ふくしing 「障がいのある人もない人も共に学び共に生きる
岩手県づくり条例」施行



被災地での災害ボランティア

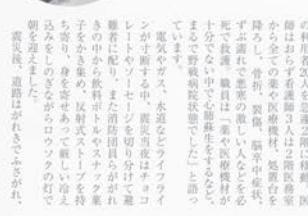
特集 その時、福祉現場は

緊急事態、地域の避難所として必死の救護

大 釜石市吉里吉里地区の高台にある特別養護老人ホーム「ふたあヒルズ」の職員は、大きな揺れと同時に地域の避難所として水門を開けに走り出しました。

同ホームは、施設から少し低い所にあり、吉里吉里中学校の校庭まで水浸し。職員は、避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

釜石市社会福祉協議会(釜石市)は、震災当日、特別養護老人ホーム「ふたあヒルズ」を避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。



釜石市社会福祉協議会(釜石市)は、震災当日、特別養護老人ホーム「ふたあヒルズ」を避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

同ホームは、施設から少し低い所にあり、吉里吉里中学校の校庭まで水浸し。職員は、避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

まちの復興とともに心の復興を

矢野 一樹 事務局長

外回りからの帰途に地震に遭い、強い揺れで事務用ビルに入った瞬間、足もとまで震が押し寄せました。

施設のためには社会福祉法人として、職員は不眠不休で奮闘しました。一日も早く児童、障がい者、高齢者など市民の方々に対する適切な支援に取り組むことを考えています。

施設のためには社会福祉法人として、職員は不眠不休で奮闘しました。一日も早く児童、障がい者、高齢者など市民の方々に対する適切な支援に取り組むことを考えています。

連携・協働で被災地での新たな支え合いをつくる

菊池 亮 地域福祉係長

全国の福祉キヨコによる支援のありがたが、つながりの大切さを痛感しています。



釜石市社会福祉協議会(釜石市)は、震災当日、特別養護老人ホーム「ふたあヒルズ」を避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

同ホームは、施設から少し低い所にあり、吉里吉里中学校の校庭まで水浸し。職員は、避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

特集 東日本大震災 利用者、避難者、地域住民を守るために

その時、福祉現場は

釜石市社会福祉協議会(釜石市)は、震災当日、特別養護老人ホーム「ふたあヒルズ」を避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

被災地の福祉では全国から福祉職員の支援を受け、福祉の立て直しのための取り組みや、ボランティア受け入れ、調整、仮設住宅入居者の支援などに努めています。また被災した高齢者施設では、被災直後から地域の避難者や高齢者を受け入れ、避難所施設としての中核機能を果たした施設も少なくありません。

釜石市社会福祉協議会(釜石市)は、震災当日、特別養護老人ホーム「ふたあヒルズ」を避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

同ホームは、施設から少し低い所にあり、吉里吉里中学校の校庭まで水浸し。職員は、避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

被災した住民の方々に寄り添う支援。釜石市社会福祉協議会(釜石市)は、震災当日、特別養護老人ホーム「ふたあヒルズ」を避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

同ホームは、施設から少し低い所にあり、吉里吉里中学校の校庭まで水浸し。職員は、避難所として開設し、避難者を受け入れ、食料や飲み物を配り、避難者の安全を確認し、避難者の生活を支える役割を果たしました。

特集 明日へつなぐ支援

仮設施設で希望の再出発(障がい者支援施設はまなす学園・山田町)
「サロン」で築く新たなご近所付き合い(陸前高田市社協)
住田町社協の後方支援(住田町社協)

ふくし部 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議



ボランティアの皆さま 活動ありがとうございます

県内外からボランティア活動へ参加いただいている多くの
方々に深くお礼申し上げます。現在、県内24の市町村が災害
VCを設置し活動しています。被災地の復興作業は多くのボ
ランティアの方々のおかげにより進められています。
今回の震災では被害の大ききから、被災地では長期に
わたる支援が必要な状況となっております。どうぞ引き続き
支援いただきますようお願い申し上げます。

- | | |
|---|--|
| 盛岡市災害ボランティアセンター
http://www.morioka-shakyo.or.jp/
連絡先: 019-651-1000 | 八幡平市災害ボランティアセンター
http://www.hachimantai-shakyo.or.jp/
連絡先: 0195-74-4400 |
| 宮古市災害ボランティアセンター
http://www.miyako-shakyo.or.jp/
連絡先: 090-4478-3984 | 二戸市災害ボランティアセンター
http://www.ninohe-shakyo.or.jp/
連絡先: 0195-25-4859 |
| 大船渡市災害ボランティアセンター
http://ameblo.jp/oshakyo
連絡先: 090-7320-6504 | 雫石町災害ボランティアセンター
http://www.shisho.or.jp/
連絡先: 019-692-2230 |
| 奥州市災害ボランティアセンター
http://www.oshu-shakyo.jp/
連絡先: 0197-25-6158 | 住田町災害ボランティアセンター
http://www.15oon.ne.jp/~sumi/
連絡先: 0192-46-2300 |
| 花巻市災害ボランティアセンター
http://hanamaki-shakyo.or.jp/
連絡先: 0198-24-7222 | 紫波町災害ボランティアセンター
http://www.town.shiwa.iwate.jp/
連絡先: 019-672-3258 |
| 北上市災害ボランティアセンター
http://www.ishino-shakyo.jp/
連絡先: 0198-64-1212 | 大槌町災害ボランティアセンター
http://www.kago-shakyo.or.jp/
連絡先: 090-5949-8033 |
| 久慈市災害ボランティアセンター
http://www.kuji-shakyo.jp/
連絡先: 0194-63-3380 | 山田町災害ボランティアセンター
http://video.jp/ryamada/
連絡先: 0193-89-7515 |
| 遠野市災害ボランティアセンター
http://www.ishino-shakyo.jp/
連絡先: 0198-62-1001 | 岩手県災害ボランティアセンター
http://www.town.karumi.iwate.jp/
連絡先: 0195-46-2881 |
| 一関市災害ボランティアセンター
http://www.ichinoseki-shakyo.com/
連絡先: 0191-23-6020 | 洋野町災害ボランティアセンター
http://www.town.hirano.iwate.jp/
連絡先: 090-5949-8033 |
| 陸前高田市災害ボランティアセンター
http://rikutaka-1-da.net/
連絡先: 090-1344-5763 | 野田村災害ボランティアセンター
http://blog.carpin.info/nodakshakyo-vc
連絡先: 080-5949-8033 |
| 釜石市災害ボランティアセンター
http://blog.carpin.info/kamashivc/
連絡先: 0193-22-2310 | 金ケ崎町災害ボランティアセンター
http://www.15oon.ne.jp/~kirei/
連絡先: 0197-44-6060 |
| | 陸前高田市災害ボランティアセンター
http://www.k3-dome.jp/~gshak/
連絡先: 019-684-1110 |



※お問い合わせ先
岩手県社会福祉協議会
地域福祉企画部
ボランティア・市民活動センター
Tel 019-637-9711
E-mail: vc-1@iwate-shakyo.or.jp

仮設住宅に「緑のカーテン」

●釜石市災害支援VC



節電対策の一環として緑のカーテンを
設置する動きが全国で広がっています
が、先日、釜石市内の昭和園グラウンド
仮設住宅でも緑のカーテンが設置されま
した。

この活動は「緑のカーテンいわて」プロ
ジェクト実行委員会」によるもので、釜石
市災害支援VCがイベントボランティアと
して受け付け、ボランティアのマッチング
を行ったものです。

災害ボランティア入門講座開催

●北上市ボランティア連絡協議会

沿道の被災地で活動する「災害ボラン
ティア入門講座」を北上市ボランティア連絡
協議会の主催により開催しました。(7月)
被災地のボランティア活動の基礎知識
(被災地の状況や、実際に参加した方の感想
被災者の方々のニーズなど)を学んで、
自分たちに出来ることをしたいとの思いから
開催したとのこと。また、被災地の方々の
参加を促す機会になればとのこと。

これまで以上に寄り添った支援

●野田村災害復興VC



村内の被災された方が、避難所から
仮設住宅などに移り、個々の生活の拠点
を確保し、今後それぞれの生活の復旧に
向けて取り組むことから、これまで以上
に被災者に寄り添った活動を進めていく
ことを目指し、7月11日から「災害復興
ボランティアセンター」に名称変更しまし
た。

野田村は東北に位置。避難期より青森
県社協の方々の心強い支援を頂いていま
す。市内の各地区でいよいよふれあい
サロンも再開しています。

ボランティア宿营地 拠点「かわいキャン」

●盛岡市災害VC



7月6日、新たに旧県立宮古高校
旧舎校舎の建物を利用し「かわいキャン
プ」がスタート。車で宮古まで30分程
の立地条件。盛岡市社会福祉協議会
が運営に当たり、ボランティアの休
憩・宿泊、ボランティアのニーズの調整
から被災地への送迎を行い、後方支
援基地としての役割を担います。

なお、県内には他に、遠野市、住田
町、宮古市にボランティア宿泊拠点
があり、それぞれの市町村社協が管理・
運営などに関わっています。

坂道おたすけ便

●大槌町災害VC



大槌町では、避難者の多くが高台
にあり、高齢者の方々から「坂道を上
り下りするのが大変」との声を聞き、
避難所をバス停の区間「坂道おたす
け便」を定期運行しており、利用者か
ら好評です。

全国の支援物資を お分けする「青空市」

●釜石市災害支援VC



全国から届いた
支援物資を仮設住
宅の方々に分け
する「青空市」を
市内仮設住宅で行
っています。中では
自給自足の生活で
困っている方々か
ら、被災地の方々
に物資を分けたい
という声も聞か
れています。

ボランティア前線基地 「まごころネット」

●遠野市災害VC



遠野市は沿道の被災地に近い
ため、被災後早くから支援拠点として重
要な役割を担ってきました。3月末に
は遠野被災地支援ボランティアネット
ワーク「まごころネット」を設立。行政
や県内外の団体・NPOと連携して支
援の拠点をとして機能し、また遠野市
総合福祉センターなどはボランティア
宿泊拠点となっており、被災地のボ
ランティア活動を支援しています。

写真洗浄・修復ミニ講習会

●大船渡市災害VC



がれき撤去中に発見された写真を
洗浄する活動を続けており、これまで
に約2万枚を持ち主に返還。しかし、
1日に洗浄できる枚数は約50枚程
度のため、洗浄を待っている写真が
現在もたくさんあるとのこと。
洗浄依頼や洗浄方法の問い合わせも
増えていることから、専門家(紙本
保存修復士)を講師に招き、町内の
方を対象とした写真の正しい洗浄方
法を7月に開催しました。

ボランティアトピックス

支えあう
つなぎあう



町内の大槌川は川の遡上する川と
して有名です。新復興への足がかり
として、川を再生するプロジェクトをス
タート。河川の清掃、また河川沿いの
を築いていっしょにしようと頑張っ
ています。

鮎の帰ってくる川へ

●大槌町災害VC



町内の大槌川は川の遡上する川と
して有名です。新復興への足がかり
として、川を再生するプロジェクトをス
タート。河川の清掃、また河川沿いの
を築いていっしょにしようと頑張っ
ています。

熱中症に注意(各災害VC)

●大槌町災害VC



被害の大きかった市
町村では、5月以降は
県内においてもがれ
きの片付けや瓦など
の作業が継続して行
われており、現地災
害VCでは暑さ対策
、熱中症対策など
十分に気を配らな
いといけません。

110 | 岩手県社協広報誌パートナーから

パートナー

2011

vol.565

ホームページアドレス (アクセスしてください)

http://www.iwate-shakyo.or.jp/

特集 県内の17社協に生活支援相談員を配置 希望はわたしたちが創る

生活支援相談員の「訪問活動のすすめ方」
まずは被災者との「絆」づくり 釜石市社会福祉協議会

まごころ宅急便in大槌
買い物に困る被災地の高齢者を支援



明日へ進もう!! いわて 写真①大槌町で実施する買い物支援「まごころ宅急便in大槌」②おれきを撤去するボランティア(陸前高田市)③写真修復ボランティア(釜石市)④被災者に寄り添い、生活を支援する「生活支援相談員研修会」の様子

特集 県内の17社協に生活支援相談員を配置 希望はわたしたちが創る

マンパワー体制を強化し、被災地被災者を支える

東日本大震災から半年が経過し、被災地では地域内援と生活再建への復旧の重要課題となっており、被災者の再生と推進に向けて、被災地の再生(一人ひとりの福祉課題、生活課題)をきめ細かく把握し、困りごと、心配ごとを解決していくために、県内の16市町村社協と福祉協議会「生活支援相談員」(第1次)が配置されました。

「個別支援」と「地域支援」
被災地では多くの方が家族を亡くしたり、家を失ったりしています。こうした「生活課題」(住まわす、家族、仕事、学校など)と「地域課題」(コミュニティ、病院、商店、交通など)の変化、被災地では様々な生活の困難さや不安が生じています。

県内に配置された生活支援相談員は、被災者や自宅で生活する家族を必要とする人に寄り添い、日常生活



「寄り添い」ながら「支え手」になる
生活支援相談員は、被災者や家族の生活課題を解決し、被災者の生活再建を支援する役割を担っています。被災地では、被災者の生活課題は多岐にわたります。例えば、被災者の生活課題は、被災者の生活課題を解決し、被災者の生活再建を支援する役割を担っています。

県内の生活支援相談員の配置数(第1次)

市町村社協名	配置数	生活支援相談員数
岩手県社会福祉協議会	17人	17人
陸前高田市社協	22人	14人
大槌町社協	11人	12人
釜石市社協	17人	13人
大槌町社協	10人	20人
山形県社協	19人	19人
宮古市社協	18人	4人
宮古市社協	2人	1人
田子町社協	2人	2人
久保田町社協	2人	2人
山形県社協	2人	3人
宮古市社協	2人	1人
宮古市社協	5人	5人
宮古市社協	5人	5人
宮古市社協	2人	2人
宮古市社協	2人	2人
計	118人	84人

被災地では、被災者の生活課題は多岐にわたります。例えば、被災者の生活課題は、被災者の生活課題を解決し、被災者の生活再建を支援する役割を担っています。

生活支援相談員とは
被災地において、被災者の生活課題を解決し、被災者の生活再建を支援する役割を担っています。